

## 72 年前の ex J4EA の交友から先達の活躍をしのが [第 1 回]

### オールドタイマーが遺した一冊のアルバム

by Editor Shinzaburo Kawai, JA1FUY

いつのころか「モービルハム」編集部へ送られてきた小包の存在をしばらくの間、思い出すこともなく忘れていましたが、書庫の整理に取り掛かっているときに当時のままの小包を発見しました。

差出人は植田常夫さん、コールサインは JA5NG、香川県大川郡白鳥町とあり、包みを開くと一通の手紙と黒い表紙のアルバムが出てきました。

このアルバムは 植田さんの親類の ex **J4EA**、**岡本良雄**（香川県引田町）さんが遺された一冊で、昭和 8 年（1933 年）J4EA を開局のシャックが冒頭に飾られており、当時交流していたオールドタイマーの活躍がモノクロ写真に鮮やかに焼き付けられていました。



アルバムには昭和になって再び開局し活躍された有名な OM たちの写真を見ることができて興味深いものがあります。

すでに故人になられた方も少なくありませんが、そうした方々を織り交ぜてアマチュア無線の草創期に活躍されたオールドタイマーの様子を遺された写真から追ってみたいと思います。

#### ▼植田さんの手紙から抜粋

私の親類が大昔、昭和 10 年頃、J4CW、J4EA で出ていました。その頃の各局の写真をも 108 枚いただいているのですが、私には見飽きて必要ありませんので、もし皆さんに見ていただけるようでしたら寄贈いたします。de JA5NG

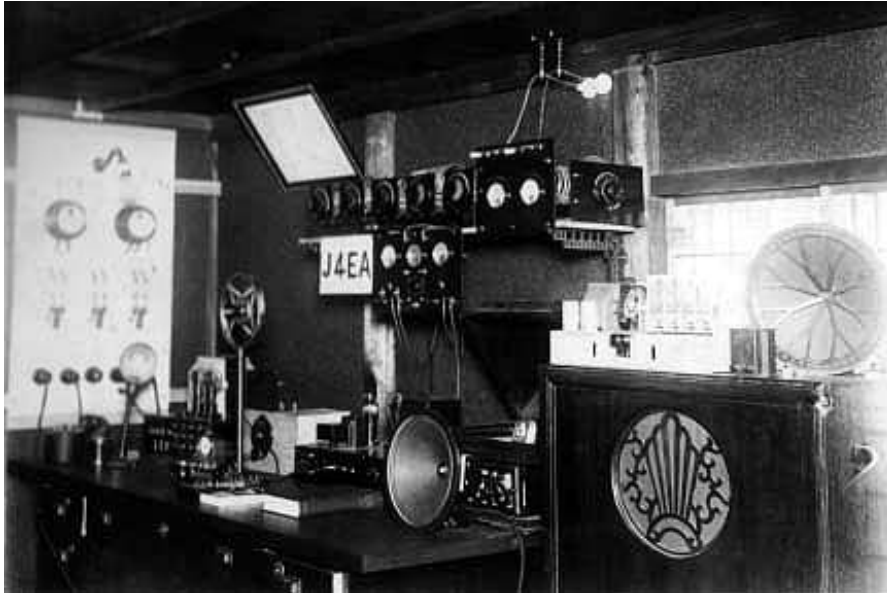
写真のコールは **J4EA**、J4CB、J3DZ、J3CW、J3EK、J3EH、J2KJ、J7CG、J1EG、J2HJ、J2CD、J2HE、J2HZ、J1EA、J6CO、J4CT、J3EF、J3DO、J3DT、W6GPB、DE1178、J4CL、J3CX、J4CM、J4EM、J3DP、J3EN、J1DO、**J2GX**、J6CP、**J2GW**、J2KQ、WA6GAL、**J3DE**、W6FZY、K6CGK、J2KJ、J1FF、J2HZ、J4CI、J2CC、J4CJ、J3FI、J2KP、MX2B、鳥取工業学校施設、MX2A、J4CO、J4CP、**J2IX**、J2LW、**K6CQV**、XU5KT、K6AKP、EA3DY、K6CRU、J7CG、J5CM、VK3ERS、その他。

\*色つきコールサインはご紹介済み

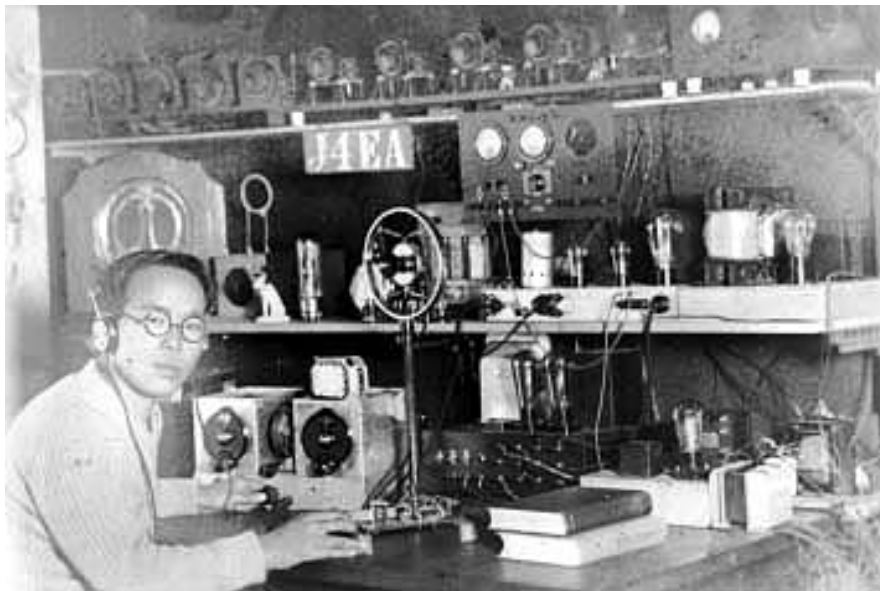
▼アルバムの冒頭は **J4EA** 岡本良雄さん自身のシャックから始まっている。（1933年撮影）

## J4EA

昭和 8 年 8 月 19 日付南仏逋相より許可になりたる最初の発信機と音声増幅、変調、受信機なり



開局から 2 年後の昭和 10 年（1935 年）JARL の QSO パーティにて 1 位に入賞した。



J4EA 昭和 10 年 1 月 3 日、JARL 主催 QSO パーティに計らずも第一等賞を得た記念なり

## 昭和 8 年 (1933 年) はどんな時代だったか？

### ■JARL 初の公開実験、愛国無線通信隊、YL 局誕生！

昭和 7 年 (1932 年) 4 月 1 日、**JARL 初の公開実験**が大阪市の白木屋百貨店 8 階で J3CT 中村季雄氏、J3CS 山本信一氏により行われた。昭和 8 年(1934 年) 8 月 8 日～11 日、**愛国無線通信隊**が第 1 回関東地域防空演習に 32 名参加。昭和 9 年 (1935 年) 近畿防空演習に 25 名参加。

昭和 6 年 (1931 年) 宮井宗一郎氏 (J3DE によって「**QRA BOOK**」が謄写版により発行、全部のハムおよび関係者に無料で配布され、昭和 15 年 (1940 年) まで毎年 1 回発行が続いた。1935 年 (昭和 10 年) JARL が **IARU** (国際アマチュア無線連合) に加入。昭和 8 年 (1933 年) 10 月、杉田千代乃さん (当時 26 歳) が **YL 第 1 号**として誕生 (J1DN)。昭和 9 年 (1934 年) 2 月から J2IX として活躍、戦後カムバックして JH1WKS。



宮井宗一郎氏 (J3DE)、家族とともに

昭和 10 年 (1935 年) 10 月 20 日、斯波邦夫氏 (ex J1EG、J2HJ) が W3FAR、ZS1H について世界第 3 番目の **28MHz WAC** を完成した。(以上、JARL「アマチュア無線の歩み」p.103～134 より引用)

### ■兄の遺志を継いだ J2IX 杉田千代乃さん



左から J2GW (半田成一郎氏)、K6CQV、J2IX (杉田千代乃さん)、K6CRU  
注釈に「vy fb YL is J2IX」の書き込みがある



兄 (杉田倭夫氏 J1DN) の急死により、まわりの勧めで J1DN を開局、昭和 9 年 (1934 年) J2IX で活躍された杉田千代乃さん。戦後は JH1WKS である

## ■YL局誕生に一役かった ex J1DO 矢木太郎さん (JH1WIX)

YL 第 1 号の鈴木千代乃さん（旧姓・杉田）についてはあまりに有名である。ハムになる直接の動機は兄の急死、学生時代から熱心なハムだった兄の過ぎた倭夫さんは日本赤十字社に勤め始めて間もなく病死した。一家の悲嘆は大きかった。生前 J1DN として活躍していただけに、葬儀にハム仲間も参列した。喪があげ遺品の整理に取りかかった。棚の上には、好きで集めた送受信機が所狭しと並んでいた。誰かが名案を思いついた。

「いっそのこと、妹さんにハムをやらせてみては・・・」

「それがいい、兄さんの遺志も継げるし、リグもそっくり役に立つ」

この提案が千代乃さんへ伝えられた。文化学院に通っていた彼女は、はじめしり込みした。

「兄の交信を見てきましたが、私なんかにはとても・・・」

「そこをなんとか、トンツーさえ覚えれば、あとは引き受けます」

乗りかかった船だ、ハム仲間もあきらめなかった。「お兄さんの遺志を・・・」という殺し文句に負け、千代乃さんは承諾した。特訓が始まった。難物の無線工学を **J1DO 矢木太郎**さんが担当した。

「予想に反して、スラスラ頭に入ってくれた。彼女、根が勉強家ですね。インダクタンスをヨーフクダンスと間違えるようなことはなかったですよ」 念願の国家試験もなんなくパス、通信省のいきなはからいでコールサインも兄のを引き継ぎ、昭和 9 年（1934 年）10 月 16 日、**J1DN** で電波を出した。矢木さんとの初交信が終わると、「開局おめでとう」のシグナルがハム仲間から寄せられた。

「J1DN は YL らしい」という評判が間もなく海外に伝わり、アメリカの QST にも紹介された。彼女は昭和 12 年（1937 年）に鈴木雄二さん（後年の小田原市長）と結婚後も QSO を続け、ハンドルの「SUZY」は外国のハムに親しまれた。戦後の 45 年に JH1WKS でカムバック、もっぱら CW で活躍している。

（以上、「ハム半世紀」香山晃著 p.64～p.66 電波実験社より抜粋）

（編注：鈴木千代乃さんは平成 3 年（1991 年）5 月 20 日、逝去されました。JJ1SIC、ex J1IX、JH1WKS）



杉田千代乃さんに無線工学を教えた J 矢木太郎氏 J2GX (ex J1DO) のシャック  
(1933 年 3 月撮影)

[参考文献]

「アマチュア無線のあゆみ（日本アマチュア無線連盟 50 年史）」、「アマチュア無線のあゆみⅢ」JARL  
「ハム半世紀」 香山晃著 電波実験社

de JA1FUY